



17 西村總左衛門

《刺繍嵐山春秋図屏風》

六曲一隻

明治二十三年（一八九〇）

繻子地、刺繍

総一八五・〇×三六四・〇

京都府 第二部第四類

一等妙技賞

木々に覆われた嵐山の山容と、その間を流れる保津川の急流を下る筏を、黒の繻子地に繊細な刺繍表現で表した屏風である。屏風の腰には木目に織られた裂に桜と紅葉を刺繍しており、金具は銅地に桜の樹皮を彫り表し、銀の桜花を象嵌して散らすなど、趣向が凝らされている。画面向かって左の縁木に「大日本帝国京都 西村總左衛門製品」の詩絵銘がある。伝来によれば、明治二十三年の第三回内国勸業博覧会へ出品され、宮内省買い上げとなった作品である。西村總左衛門は同博へ刺繍屏風を三点出品しており、そのうち一等妙技賞を受賞した「刺繍屏風保津川図」がこれに相当するかと考えられる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

内国勸業博覧会 ― 明治美術の幕開け

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 57

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十四年四月二十一日発行

© 2012, The Museum of the Imperial Collections